

復興の新しいシンボル
本宮第二中学校新校舎落成式

本宮第二中学校の新校舎落成式が、9月7日中学校体育館で行われました。

式では、生徒が自分たちで作ったスライドの上映も行われ、生徒会長の高橋準太さんが「仮設校舎での生活は大変なことが多かった。普通に校舎があるということの感謝を忘れないようにしたい」と話しました。

また、上尾市立上平中学校2年生の末永駿也さんと野本聖菜さんからは、復興応援のメッセージをいただきました。



▲本宮第二中学校の皆さんや高松市長はじめ、多くの関係者が完成を祝いました

本宮の野菜をPR
本宮市長トップセールス



▲本宮の新鮮な野菜を売り込む高松市長(右から2人目)

8月22日、23日の二日間、神奈川県横浜市の金港青果株式会社などで市長によるトップセールスを行いました。

一日目は、金港青果内会議室で情報交換会が行われ、産地の取組や生育出荷状況、消費者状況、そして産地への要望などの情報を交換しました。

二日目は、横浜市中心卸売市場を訪れ、市長自ら販売店の皆さんに本宮市産を含むJ Aみちのく安達管内の野菜をPRしました。

こんにちは市長です vol.14



本宮市長
高松 義行

「復興への加速を」

皆さん、こんにちは。

8月5日の集中豪雨は、人的被害はなかったものの、市内各地で家屋の損壊や浸水被害、市道の路面洗掘や土砂崩れ等が発生しました。被害に遭われました皆様には心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧に向けて進んで参りたいと思っております。さて、一昨年3月11日の東日本大震災から2年6ヵ月の月日が経ちました。この間、災害復旧と東京電力福島第一原子力発電所事故による、かつ経験したことのない放射能除染対策に取り組んで参りました。

平成24年8月から「本宮市除染計画」に基づき住宅除染を開始し、除染作業により発生した土砂等の仮置場につきましては、地域の方々のご理解とご協力をいただき、和地区で造成工事を終え、8月よりフレコンバッグの搬入が開始されております。また、長屋地区で造成工事が行われており、高木地区及び関下地区でも間もなく造成工事の発注が予定されております。他の地区の候補地につきま



(9月20日執筆)

しても、引き続き地域の方々とお話しをさせていただきたいと思っておりますので、改めて、御理解と御協力をお願いいたします。

住宅除染については、和地区での作業が終了し、今年度は長屋・高木・仁井田・関下・白岩・稲沢・松沢の各地区での作業開始と発注を行ってまいります。来年度には全ての地区について発注を行う予定であり、震災からの復興のスピードアップを図り、一日でも早く元気な本宮市を取り戻したいと考えております。

また、9月は市内各地で敬老会が開催され、各地区の敬老会に足を運ばせていただき、出席者の皆様とふれあい、明るく、元気な笑顔を拝見し嬉しく思います。私もたくさん元気をいただきました。実りの秋を迎え、米の収穫作業も本格化します。今年も昨年度に引き続き、米の全量全袋検査を行い、本宮の米の安全安心を発信してまいります。

朝夕の肌に触れる風に秋の気配が感じられる季節となりました。涼しくなってきました。夏の疲れが出て体調を崩しやすいので、体調管理に充分ご留意のうえ、お過ごしください。

先進的な農業経営が認められ
伊藤さん夫妻、県農業賞受賞

伊藤昌広さん・かおるさん(青田字塔森)が第54回福島県農業賞を受賞し、9月10日福島市で表彰式が行われました。

伊藤さんご夫妻は、水稲とアスパラの栽培をはじめ、農家民宿の運営などの多面的取組みと、エコファーマー、集落営農などのけん引役としての活動が高く評価されたものです。

昌広さんは「関係団体、地域の人の協力があって今回の受賞があったのだと思います。今後もつながりを大切にして後継者を育てていきたい」と話しました。



▲地元の人の協力なしには40年間農業は続けられなかったと話す伊藤さんご夫妻

お互いの力をぶつけ合おう
上尾市と社会人野球交流

9月8日、しらすわグリーンパーク野球場で、上尾市のイーストブラックスと福島県市町村対抗軟式野球大会に出場する本宮市選抜チームとの交流試合が行われました。社会人スポーツ交流事業としては、初めての試みで、あいにくの小雨模様でしたが、野球協会の協力によりグラウンドコンディションを整え試合を行いました。

上尾市チームは若手中心で生き生きとしたプレーを展開し、対する本市選抜チームは確実なプレーを見せ、緊迫感のある好ゲームとなりました。試合は本宮市選抜チームに軍配が上がりました。



▲雨模様の中でも、初めての交流試合は盛り上がりを見せ、両チームの交流を深めていました

全国の「へそのまぢ」が集合
「そのまぢ協議会総会」を開催

「全国へそのまぢ協議会平成25年度総会」は、8月31日に岡山県のへそである吉備中央町で開催され、高松市長が出席しました。全国へそのまぢ協議会は、交流を通じてお互いの地域の振興、地域づくりを考えていくこと。さらには、災害時相互応援協定の締結を目的とするもので、本宮市は「福島へのへそ」として平成23年11月に協議会に加盟しました。

総会では、加盟各市町村で取り組んでいる事業などについて情報交換を行い、高松市長は本宮の野菜の安全性を説明しながらPRも行うことができました。



▲山本雅則吉備中央町長に本宮の野菜をPRする高松市長